

公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団
令和3年度事業計画

【基本方針】

主として独立行政法人日本芸術文化振興会（以下「振興会」という。）からの委託を受け、組踊等の公開等の事業について次の業務を行う。

- 1 沖縄伝統芸能等の公演
- 2 伝統芸能伝承者養成業務
- 3 調査研究、資料収集・利用業務
- 4 劇場施設を沖縄伝統芸能の振興又は普及を目的とする事業その他のための利用に供すること
- 5 国立劇場おきなわの施設の管理運営
- 6 その他必要な業務

1 沖縄伝統芸能等の公演（107,781千円）〈前年度132,369千円〉

(1) 自主公演の開催（101,528千円）

〔目 的〕 沖縄伝統芸能等の公演

〔事業内容〕 自主公演（下記の20公演32回）の稽古及び開催

※振興会との調整の結果、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、上半期（4月～9月）は収容定員の50%以内の座席制限が継続するものとして計画

※公演名の「※」印は、日本博事業として申請した公演

○定期公演（9公演12回）

公 演 名	期 日	回数
三線音楽「古典音楽の美」	4月24日	1
組踊「執心鐘入」	5月15日	1
琉球舞踊「男性舞踊家の会」	6月19日	2
組踊「大川敵討」（糺しの場）※	7月10日	1
琉球舞踊鑑賞会①	7月23日	1
琉球舞踊鑑賞会②	7月24日	1
沖縄芝居「与那国シヨンガネー」「黒島王物語」	9月18日	2
琉球舞踊「琉球舞踊特選会」①②※	1月15日、16日	2
組踊「二童敵討」※	2月12日	1

○企画公演（5公演7回）

公 演 名	期 間	回数
アジア・太平洋地域の芸能	10月31日	1
国立劇場寄席	11月13日	1
ゆらていく遊ば	12月18日、19日	2
歌舞劇「首里城物語」※	2月26日、27日	2
新作組踊「真珠道」※	3月12日	1

○研究公演（1公演1回）

公 演 名	期 間	回数
組踊「伊祖の子組」※	1月22日	1

○普及公演（5公演12回）

公 演 名	期 間	回数
親子のための組踊鑑賞教室「万歳敵討」※	8月7日、8日	2
沖縄芝居鑑賞教室「黒島王物語」	9月16日、17日	2
組踊鑑賞教室「銘苺子」※	10月23日	1
組踊鑑賞教室「執心鐘入」	11月24日～26日	6
はじめての組踊～Discover KUMIODORI～「執心鐘入」※	11月27日	1

(2) 自主公演の開催準備（302千円）

〔目 的〕 公演事業委員会で、令和4年度開催の自主公演のあり方について検討する。

〔事業内容〕 公演事業委員会を開催し、有識者から様々な意見を聴取、検討する。

(3) 沖縄県文化観光戦略推進事業（4,500千円）

〔目 的〕 国立劇場おきなわが、県内外の多くの方が利用する本県の文化観光施設の拠点となることを目指し、県外公演を実施する。

〔事業内容〕 開催場所、日時、演目等内容調整中。

(4) 沖縄県・国立劇場おきなわ鑑賞層拡大事業（1,451千円）

〔目 的〕 国立劇場おきなわの公演を鑑賞する機会の少ない層に影響力がある集団に対して、劇場までのバスチャーター経費を助成する。

〔事業内容〕 ・貸切バスの費用を助成する。

2 伝統芸能伝承者養成業務（23,310千円）〈前年度22,560千円〉

(1) 組踊(立方・地方)の伝承者養成事業（20,566千円）

〔目 的〕 国の重要無形文化財「組踊」立方・地方の伝承者を養成する。

〔事業内容〕 第6期研修生に対し、実技（組踊・副・基礎）等研修及び発表会を実施するとともに、組踊養成事業の計画並びに評価を専門的観点から検討するため、養成事業委員会を開催する。

(2) 既成者研修事業（2,744千円）

〔目 的〕 研修を修了した者に既成者研修を行い、技芸の向上を図る。

〔事業内容〕 組踊研修を修了した若手実演家に対し、組踊実技の研修及び若手伝承者公演を実施する。

3 調査研究、資料収集・利用業務（22,375千円）〈前年度33,332千円〉

(1) 芸能記録作成（16,971千円）

〔目的〕 組踊等沖縄伝統芸能の調査を実施し、収集、整理及び記録作成を行う。
また、自主公演の記録、上演資料集、公演記録台本等の作成等を行う。

〔事業内容〕 組踊等沖縄伝統芸能の調査、収集、整理及び記録作成を行うとともに、
自主公演の公演記録、上演資料集及び公演記録台本の作成を行う。

(2) 組踊等沖縄伝統芸能の図書資料等の収集・整理・利用（5,404千円）

〔目的〕 組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資する図書資料等の収集、整理を
行う。また、芸能資料展示、公演記録映像の公開を行い、一般の利用
に供する。

〔事業内容〕 図書資料等の収集整理、芸能資料展示、公演記録映像の公開を行い、
一般の利用に供する。また、公演記録鑑賞会及び沖縄伝統芸能等公開
講座を開催する。

4 劇場施設を沖縄伝統芸能の振興又は普及を目的とする事業その他のための利用に供すること（8,503千円）〈前年度8,513千円〉

(1) 劇場施設の貸付

〔目的〕 劇場施設（大劇場、小劇場及び稽古場）の貸付を行い、芸術・文化の
振興に寄与する。

〔事業内容〕 劇場施設の貸付を行い、国民の芸術・文化活動等の利用に供する。

5 国立劇場おきなわの施設の管理運営（597,170千円）〈前年度592,537千円〉

(1) 国立劇場おきなわの施設の管理運営

〔目的〕 振興会からの委託を受け、国立劇場おきなわの施設の管理運営を行う。

〔事業内容〕 国立劇場おきなわの施設の管理運営。

6 その他必要な業務

(1) 「国立劇場おきなわ友の会」の会員募集及び講演会等の開催（5,088千円）

〔目的〕 国立劇場おきなわ自主公演を継続して鑑賞する者の便宜を図ることを
目的とする「友の会」の会員募集を行う。また、会員特典として、会
報の発行や講演会等を開催する。

〔事業内容〕 「国立劇場おきなわ友の会」の会員募集、会報の発行及び講演会等の
開催。

(2) 募金活動の推進（640千円）

〔目的〕 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団の活動資金の造成を図る。

〔事業内容〕 企業等へ寄附金を依頼する。

(3) 「新しい劇場・公演」創造経費関連事業（26,795千円）

①舞台公演コンテンツの配信（19,249千円）

- 〔目 的〕 組踊公演等を配信することにより、劇場来場者に加え、県外、海外のファン層や県人会等をターゲットに沖縄伝統芸能の魅力を伝えていく。
 〔事業内容〕 自主公演の一部について、公演を撮影し有料で配信する。

②組踊ワークショップ等の開催（7,352千円）

- 〔目 的〕 はじめて組踊等の沖縄伝統芸能に触れる方にも興味を持っていただけるよう、県内外において組踊ワークショップ等のイベントを開催する。
 〔事業内容〕 自主公演や県外公演にあわせ組踊ワークショップ等のイベントを県内外において開催することで、沖縄伝統芸能の魅力を伝えていく。

③企画展示における多言語リーフレットの作製（194千円）

- 〔目 的〕 初めて沖縄の伝統文化に触れる外国人観光客にも、組踊等沖縄伝統芸能の魅力をわかりやすく伝える。
 〔事業内容〕 企画展において、多言語パンフレット・展示解説リーフレットを作製し、配布する。

【参考】 「日本博」事業関連（86,910千円） ※金額は、上記「1 沖縄伝統芸能等の公演」及び「5 国立劇場おきなわの施設の管理運営」の内数

①自主公演のうち日本博事業として申請した公演

公 演 名	期 日	回数
組踊「大川敵討」（糺しの場）	7月10日	1
琉球舞踊「琉球舞踊特選会」①②	1月15日、16日	2
組踊「二童敵討」	2月12日	1
歌舞劇「首里城物語」	2月26日、27日	2
新作組踊「真珠道」	3月12日	1
組踊「伊祖の子組」	1月22日	1
親子のための組踊鑑賞教室「万歳敵討」	8月7日、8日	2
組踊鑑賞教室「銘苺子」	10月23日	1
はじめての組踊～Discover KUMIODORI～「執心鐘入」	11月27日	1

②オーディオガイドシステムの導入

- 〔目 的〕 外国人客や県外観光客にも組踊公演を楽しんでいただくため、オーディオガイド、字幕タブレットを提供する。
 〔事業内容〕 普及公演「はじめての組踊～Discover KUMIODORI～『執心鐘入』」等において、多言語のオーディオガイドや字幕タブレットを導入することで、外国人客や県外観光客の観劇をサポートする。

③親子及び外国人のための組踊鑑賞教室に関する広告宣伝費

[目 的] 「親子のための組踊鑑賞教室」等をPRするため、多言語のチラシやポスターを作成するほか、外国人向けの広報媒体に広告を掲載する。

[事業内容] 「親子のための組踊鑑賞教室『万歳敵討』」等の多言語版チラシ・ポスターの制作及び英字新聞等の広告媒体への掲載。

④外国人のための組踊ワークショップ

[目 的] 外国人客が組踊に対する理解を深め、公演をより楽しんでいただけるよう、英語通訳のある組踊ワークショップを開催する。

[事業内容] 普及公演「はじめての組踊～Discover KUMIODORI～『執心鐘入』」の開演前に、英語通訳のある組踊ワークショップを開催し、レクチャー・体験等を通して組踊への理解を深めていただくことで、外国人客の観劇をサポートする。

⑤シリーズ「首里城と芸能」－講座・御冠船躍と花火－

[目 的] 琉球芸能の学術研究の立場から、首里城の歴史と環境を検証する講座を実施し、首里城火災復旧復興の一助として沖縄の歴史的文化遺産を育てる機運とする。

[事業内容] 講座を開催し、首里城の歴史と環境から琉球芸能を考察するとともに、令和元年より取り組んでいる、王朝時代に首里城の御庭で披露された世界中に類例のない琉球だけの「からくり仕掛け花火」の3作目を復元し、実演する。

⑥映像制作「沖縄伝統芸能の多言語PR」

[目 的] 沖縄伝統芸能のブランディングの強化及び沖縄伝統芸能鑑賞を目的とするインバウンドの拡充を図る。

[事業内容] 外国人をメインターゲットとした沖縄伝統芸能と関連する沖縄の風景をPRする映像を制作し、SNS等を活用して国内外に発信する。映像には、世界遺産に登録された「琉球王国のグスク及び関連遺産群」から組踊に関連のある城趾や伝統文化の発信の場である国立劇場おきなわを盛り込み、音楽は沖縄の古典音楽、ナレーション等は全編英語とし、日本語・中国語・韓国語の字幕を表示する。

⑦県外公演「琉球舞踊と組踊」（仮）※上記1(3)沖縄県文化観光戦略推進事業と同時に実施

[目 的] 県外に向けて、沖縄の特色ある伝統行事や伝統芸能に代表される多様で豊かな文化資源をPR・発信することで、新たな地域観光コンテンツとなり、劇場への誘客を図る。

[事業内容] 開催場所、日時、演目等内容調整中。